

平成 25 第 3 回定例会一般質問

1. 北方領土返還運動原点のまちとして今すべきこと
 - (1) 四島交流事業への取り組みについて
 - (2) 内政問題として取り組むべき課題について
 - (3) 第 7 期北方四島隣接地域振興計画への取り組みについて

2. 生涯学習施策への取り組みと施設整備について
 - (1) 生涯学習施策に対する基本姿勢について
 - (2) 生涯学習関係施設の整備状況と諸課題について
 - (3) 今後の施設整備に対する考え方について

3. 市立根室病院の諸課題について
 - (1) 電子カルテシステムについて
 - (2) 病院ボランティアの募集及び実施状況について

2013/10/02

根室市議会議員

本 田 俊 治

通告に基づき一般質問をさせていただきます。

はじめに、北方領土問題について伺いたします。

今年4月の安倍・プーチン日露両首脳会談により、領土問題解決に向けた、平和条約問題の双方に受入れ可能な解決策を作成する交渉を加速化させることが確認されました。

元島民をはじめ、返還運動の最前線で活動を続けて来た根室市民の悲願である北方領土問題解決に向けた交渉が動き出しそうな気配を感じるどころです。

当然、交渉事は国家間で行うものです。その交渉事を支えるために行ってきた、国民世論を喚起するための返還運動、四島交流事業に今一度ねじを巻かなければならない時であり、その中心は我々根室市民でなければなりません。

政府要人等の現地視察の都度、懇談会等の場で元島民の皆さんは「元島民に残された時間はあとわずかです。」と、その切実な思いを訴え続けてきました。

今こそ、私たちは、68年間の想いを一つに、北方領土返還運動原点のまちとして、「今すべきこと」を明確にし、地域として自ら行動すべきではないでしょうか。

故郷の島々に戻りたい、その強い想いで返還運動、四島交流事業の先頭に立ち続けてきた多くの元島民の皆さん。願い叶わず亡くなられた方々、体力的な理由から活動を諦めた方々等のその想いは、元島民や二世、三世、返還運動関係者だけでなく、私たち、市民一人ひとりが受け継いでいかなければならないものと考えます。

その為にも、多くの市民に返還運動、四島交流事業に参加していただくよう、新たなムーブメントを起こさなければならぬ時ではないでしょうか。

そこで、四島交流事業への取り組みについて、「今すべきことはなにか」という視点から、市長のお考えを伺います。

次に、これまであと送りにされてきた、残地財産や旧漁業権の問題、或いは、世界でも有数の漁場が奪われたことによる、この地域の経済的損失への対応、対策も重要であり、返還運動と切り離し地域課題、内政問題として検討を進めることのできる諸課題については、返還交渉が動き出しそうな、今こそ、具体的な目標設定や解決に向けた取り組みを急ぐ必要があると考えます。

そこで、内政問題として取り組むべき課題について、市長のお考えを伺います。

3点目は、第7期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画についてであります。

今年4月にスタートした第7期目の北方領土隣接地域の振興計画、その実施計画は、これまでも述べてまいりましたが、地元からの提案によってまとめられるものでなければならぬと考えます。

もう10月です。5か年計画の初年度の半分が過ぎました。平成26年度の国の予算編成に間に合うのでしょうか？

現時点で、実施計画策定作業はどのような状況になっているのか、根室市として、具体的にどのような取り組みをされてきたのか、更には、重点施策パッケージ事業として位置づけられた6項目に対して、根室市としては、現時点でどのような方針をもって作業をされているのか非常に不透明です。

そこで、第7期北方領土隣接地域振興計画への取り組みについて、市長のお考えを伺います。

次に、生涯学習施策への取り組みと施設整備について伺います。

このまちには誇れる文化・芸術・スポーツなどの歴史的素地があると思います。

私の大好きな音楽のジャンルの一例ですが、ジャズの街と言われるようになったジャズ愛好家達の取り組み、根室市開基100年の昭和43年から歌い継がている根室市の第九、交響組曲「北国讃歌」、そして、多くの児童生徒が声楽、ピアノ、電子オルガンや合唱等で一年間の成果を披露する児童生徒音楽大会等々派手ではありませんが、半世紀近い継続が創り上げた文化があります。

そこには誇りも生まれますし、現に、これらを誇りに活動を続けている市民も多いと思います。

生涯学習施策への取り組みは、

歴史あるこのまちの中で脈々と受け継がれてきた素晴らしい文化・芸術・スポーツ等の素地を踏まえ、心豊かで健やかな子供たちを育て、世代を超えて市民が参画できる仕組みづくり、環境づくりを、夢と理想をもって計画的に継続して行く姿勢が必要であると考えます。

市民一人ひとりが希望する適切で豊かな学習機会を準備し、生涯を通じて学ぶことのできる環境を充実させる取り組みが大切です。

生涯学習機能の充実により、まちの文化度も高まります。そして、文化度を高めることは、人口流出の抑制、流入促進にとっても重要なファクターであると考えます。

そこで、文化・芸術・スポーツ等多岐にわたりますが、これまで生涯学習施策がどのような体系の下で進められてきたのか、基本的な姿勢について教育長のお考えを伺います。

次に、生涯学習関係施設の整備状況と諸課題についてであります。

根室市社会教育計画では、基盤整備方針が示されていますが、間もなく計画期間は終わります。半島地区の小学校の統廃合があったり、長引く市中経済の低迷、人口減少、高齢化等生涯学習を取り巻く環境も大きく変わり、基盤整備方針にも様々かい離が起きているように感じております。

そこで、施設整備に関する諸課題について教育長のお考えを伺います。特に、社会教育計画に盛り込まれている総合体育館建設に向けた調査・研究の状況、並びに、半島地区の4小学校の跡地利用について、具体的な見解についても、お伺いします。

併せまして、今後、どのようなお考えで生涯学習施策を推進されるのか、施設整備に対する考え方に沿って、教育長のお考えをお伺いいたします。

生涯学習施策の推進や環境整備には、根室市全体の総合的な判断が必要であり、限りある財源の下、健全な財政運営を進めていくためには、当然、あれもこれもと言う訳にはいきませんので、バランスのとれた施設整備計画が必要です。

昨年、明治公園憩いとふれあいの森の整備の話が、市長の想いでしょうか突然グイグイ進みました。室内遊戯施設や現在使用休止中のキャンプ場に変るオートキャンプ場、更には、青少年宿泊研修施設等を含む壮大な構想です。

一方で、総合運動公園整備事業の中には、総合体育館や野球場の計画がありましたが、財政状況の理由から中止になっており、そのまま手つかずの状況です。

本当に市民が望む施設はなんでしょうか？その調査は行われていません。これまで必要として計画計上され、諸事情により中止・休止になった事業も含め、今一度、市民ニーズをしっかりと把握し、総合的な視点から、生涯学習施設の整備に対する判断が必要だと思えます。

また、半島地区の4小学校の後利用についても、私は、生涯学習の拠点施設としてそれぞれに目的と役割を持たせして、半島全体を面として、市民も楽しみ、また、外から人を呼び込むことできる様な機能を整備する方法もあると考えております。

様々な考え、意見があるものと思いますので、是非、多くの市民の声を聞いていただきたいと思います。

これまでの質疑で、半島地区の4小学校の後利用については、市長部局が総合的に判断するとご答弁を頂いておりましたので、この点も含めまして、今後の生涯学習施設整備に対する、市長のお考えをお聞きいたします。

次に、市立根室病院の諸課題についてお伺いします。

はじめに、電子カルテシステムの導入についてであります。

新病院建設事業におけるシステム導入費用は、ネットワーク系の工事費等を含め約四億円です。現行システムを拡張しただけのフルオーダーリング・システムであり、平成20年度導入のクライアント等がそのまま使用され、更に、新しく導入したクライアントのOSも来年4月にはメーカー保守サポートが切れるWindowsXPにダウングレードされていました。

正直申し上げまして、この導入コストとシステム構成には愕然としました。

決算審査等でシステム導入の詳細をお聞きしたいところですが、その様な中、病院内では、既に、電子カルテシステム導入に向けた検討に入っているとお話もある様ですので、これまでの議会質疑を踏まえ、電子カルテシステムの導入に関して何点かお伺いいたします。

はじめに、電子カルテシステムの導入の必要性並びにどの様な認識のもとに現在検討作業を進められているのか、市長のお考えを、伺います。

次に、これまでもシステム導入に関しては、職員のコンセンサスを得る作業が最も重要であると述べてきましたが、残念ながら、フルオーダー化ではその作業が足りなかったのではないのでしょうか？電子カルテシステムの導入にあたり、院内コンセンサスをどの様に得て進めようとしているのか、市長のお考えを伺います。

また、電子カルテシステムの導入に向けた院内作業のスケジュール、及び、すでに検討にはいつているということですので、現状の作業の状況についてもお伺います。

終わりに、病院ボランティアの募集及び実施の状況についてであります。

病院ボランティアの一次募集では2名の応募しかなく、追加募集をされたわけですが、その結果を踏まえまして、募集内容や募集方法についてどの様な認識をもたれているのか、また、

10名から15名のボランティアを想定されていたと認識しておりますが、現在、予定より少ない3名のボランティアの皆さんはどのような活動をされているのか、更には、今後のボランティア募集をどのような考えで進めるのか、募集のあり方等について市長の見解を伺い壇上からの質問といたします。